

スムーヴTS インファントカーシート

SMOOOVE TS Infant CarSeat

取扱説明書／保証書

体重2.5kgから13kgまでの赤ちゃん用です。

本製品は、UN ECE-R16または他の同等の基準に基づいて認可された自動車3点式／リトラクター付きシートベルトを装備した車に使用できます。

このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前に、取扱説明書(本書)をよくお読みのうえ正しくお使いください。
また、お読みになった後は、本書を取扱説明書収納ポケットに常備し、大切に保管してください。

本書に記載されている以外の方法で使用しないでください。
製品の機能が充分発揮されないだけでなく危険です。
本書のイラストは説明の便宜上、一部仕様が異なる場合があります。

UN ECE-R44/04適合
汎用型グループ0+、2.5kgから13kgまで。

(別売)スムーヴトラベルシステムインファントカーシートベース
使用時は、準汎用型グループ0+、2.5kgから13kgまで。



ご使用前に(P2)

取り付ける前に(P17)

車への取り付け(P24)

乗せかた(P32)

ベビーキャリー(P37)

ロッキングチェア(P39)

お手入れ(P41)

〈お願い〉

- 本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどを分かりやすくするため、実物とは多少異なる場合があります。
- 本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
- 製品の品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合もありますので、あしからずご了承ください。

〒542-0082 大阪市中央区島之内1-13-13

お客様サポートセンター TEL 0120-415-814

携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) TEL 0570-004-155

アップリカ・チルドレンズプロダクツ合同会社

もくじ

ご使用前に

チャイルドシートについて	2
保護者の方へのアドバイス	2
本書の表示について	2
本製品の使いかた	3
各部のなまえ	5
座席の条件	9
シートベルトの条件	11
ご使用上の注意	13

取り付ける前に

肩ハーネス位置の目安	17
肩ハーネス位置の調節のしかた	18
パッドの使いかた	19
ハンドルの使いかた	22
日除けの取り外しかた	23

車への取り付け

取り付け準備	24
取り付けかた	26
取り付け後の確認	30
車からの取り外しかた	31

乗せかた

お子さまの乗せかた	32
お子さまを乗せた後の確認	35
お子さまの降ろしかた	36

ベビーキャリー

ベビーキャリーとして使用	37
持ちかた	38

ロッキングチェア

ロッキングチェアとして使用	39
---------------	----

お手入れ／その他

シートカバーの取り外しかた	41
シートカバーの取り付けかた	42
お手入れ／保管／廃棄のしかた	43
困ったときには	44
保証について	46
アフターサービスについての連絡先	47
MEMO	48
保証書	50

ご使用前に

チャイルドシートについて

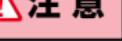
- ・チャイルドシートはシートベルトで自動車の座席に固定して使用し、自動車事故などの際に、お子さまの傷害を軽減しますが必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。
- ・日本国内及び、UN ECE規則を批准している国での使用は可能です。保証については日本国内においてのみ有効です。
- ・本書に説明されている方法以外で使用しないでください。衝突などの際に充分な性能を発揮することが出来ないおそれがあります。

〈中古品のご使用について〉

- ・前の使用者の使用履歴が分からぬ場合や、使用状態が不明な製品をご使用になることはできません。特に事故歴の不明な場合はご使用になれません。
- ・クラック(ひび割れ)や大きなキズ、留め金部の緩みなどがある場合は、ご使用になれません。事故などにより強い衝撃が加わった可能性があります。

本書の表示について

- ・「危険」、「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したものです。大変重要な内容ですので、必ずお守りください。

表 示	表 示 の 内 容
 危険	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
 警告	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
 注意	誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定されます。

保護者の方へのアドバイス

- ・お子さまをはじめて車に乗せる時から、チャイルドシートの使用を習慣にしてください。
- ・長距離を走る場合は、1時間程度を目安に休憩をとり、お子さまをシートから降ろしてあげてください。
- ・授乳後30分位は吐き戻しやすいのでご注意ください。

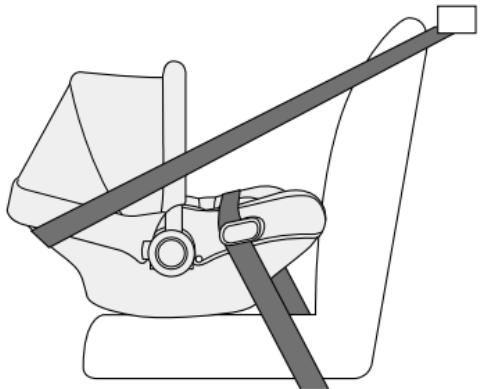
本製品の使いかた

・本製品と専用ベース(別売)、専用ベビーカー(別売)の組み合わせにより、5つの使いかたができます。

チャイルドシートとして使用 P24～P31

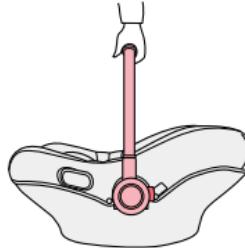
〈体 重〉 2.5kgから13kgまで
〈参考月齢〉 0ヶ月から12ヶ月頃まで
〈参考身長〉 50cmから70cmまで

後向き専用



ベビーキャリーとして使用 P37～P38

〈体 重〉
2.5kgから13kgまで
〈参考月齢〉
0ヶ月から12ヶ月頃まで
〈参考身長〉
50cmから70cmまで



ロッキングチェアとして使用 P39～P40

〈体 重〉
7kgから9kgまで
〈参考月齢〉
首すわりから10ヶ月頃まで
〈参考身長〉
60cmから70cmまで

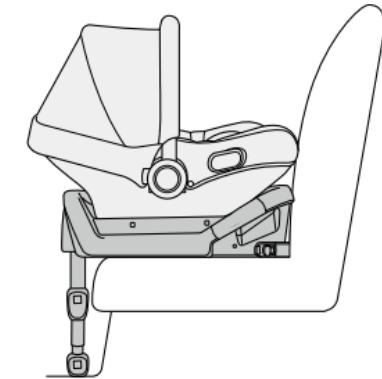


・専用ベース(別売)、専用ベビーカー(別売)の詳細はそれぞれの取扱説明書を参照してください。

専用ベース(別売)に取り付け

専用ベースの取扱説明書参照

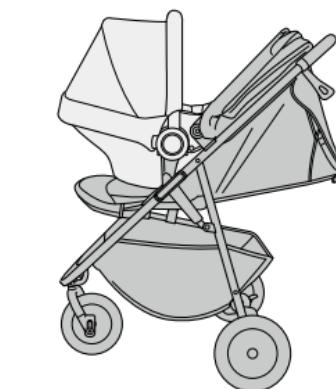
〈体 重〉 2.5kgから13kgまで
〈参考月齢〉 0ヶ月から12ヶ月頃まで
〈参考身長〉 50cmから70cmまで



専用ベビーカー(別売)に取り付け

専用ベビーカーの取扱説明書参照

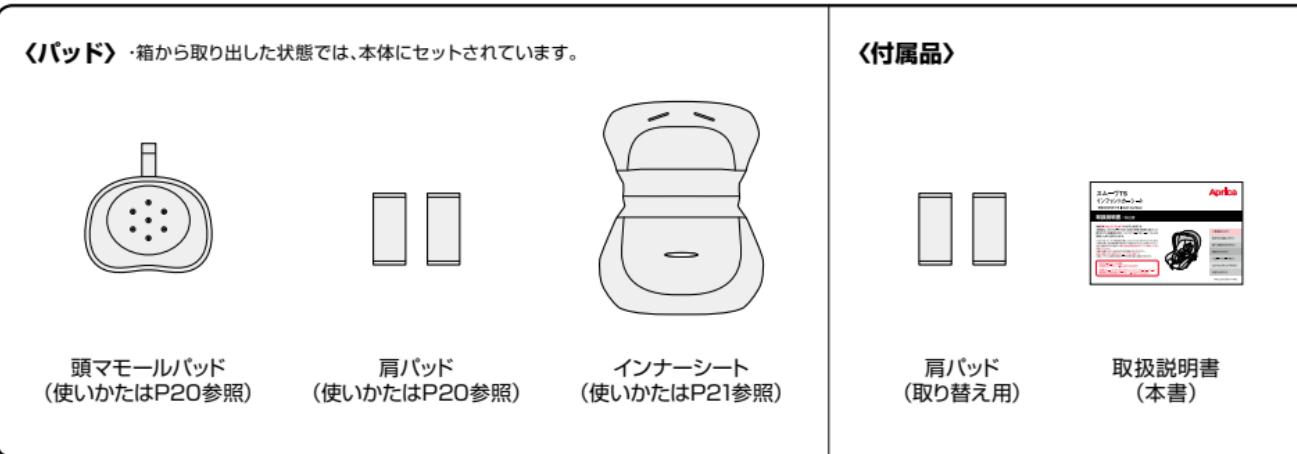
〈体 重〉 2.5kgから13kgまで
〈参考月齢〉 0ヶ月から12ヶ月頃まで
〈参考身長〉 50cmから70cmまで



各部のなまえ

梱包内容

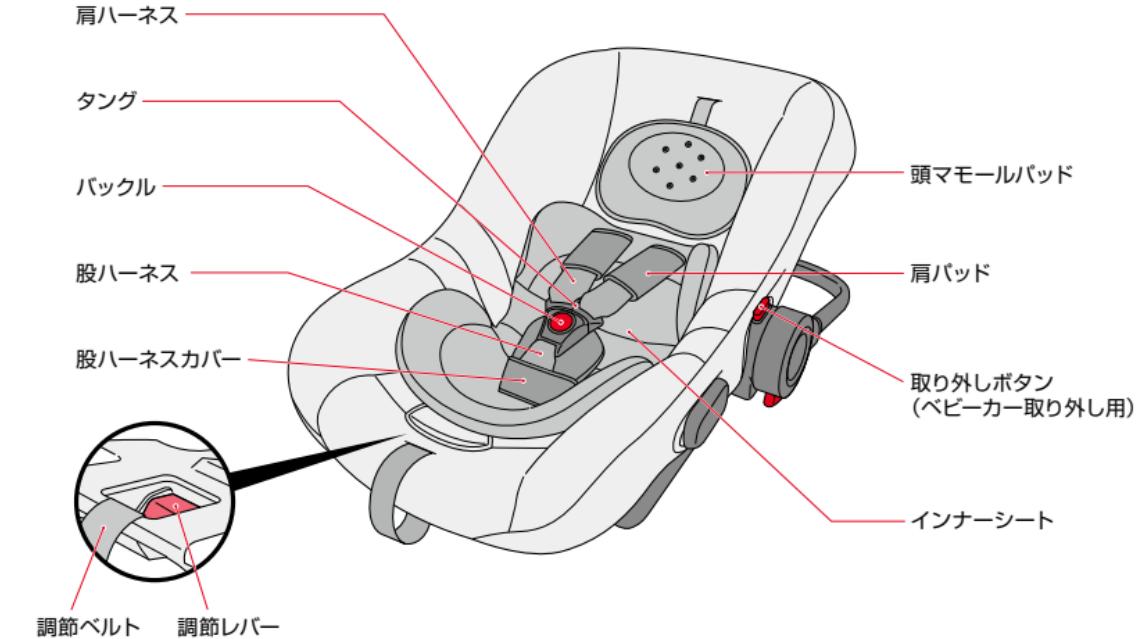
・ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。



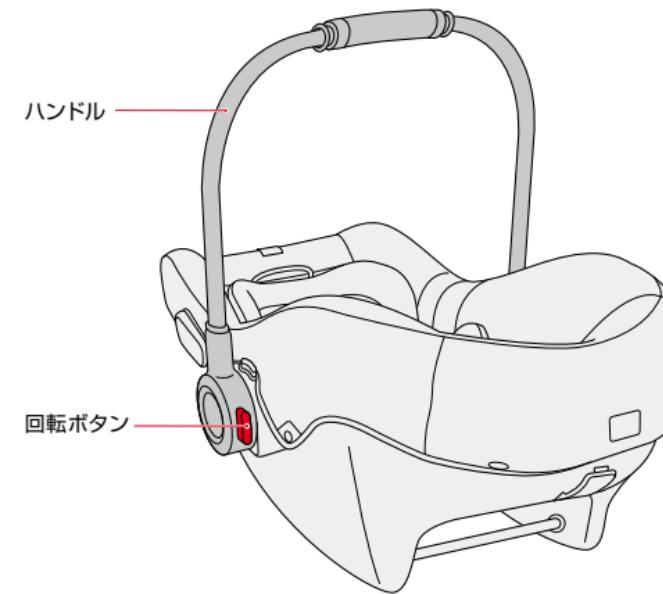
〈重要〉ご使用の前に、お客様情報登録のお願い

弊社では、万一お買い上げいただいた製品に問題があることが判明してリコールを実施する場合に、直接その内容をお知らせするために、お客様登録システムを導入しております。
安心してチャイルドシートをご使用いただくために、お買い上げ日より一ヶ月以内に必ず登録をお願い致します。

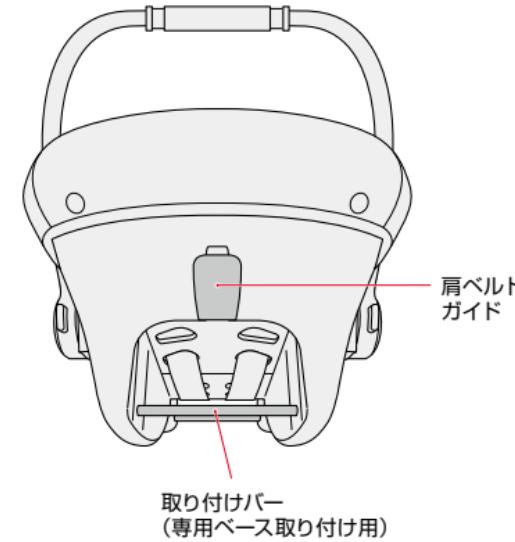
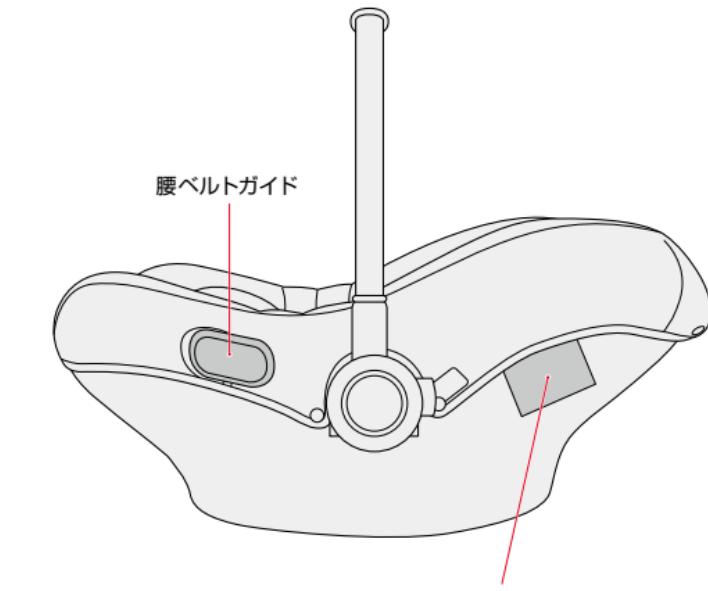
弊社ホームページ <http://www.aprica.jp/>



各部のなまえ



・日除けは分かりやすく説明するために外して表記させていただいております。



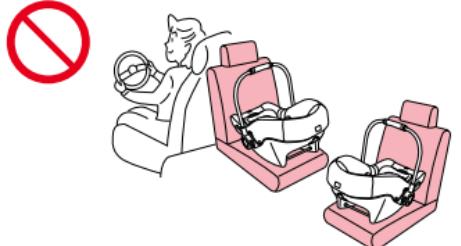
座席の条件

〈お奨めする取り付け座席の位置〉

- ・お子さまの安全性を高めるために、運転席より後ろの列の座席に取り付けることをお奨めいたします。
なお、フロントエアバッグが装備された座席には取り付けできません。

〈取り付けできない座席〉・座席の位置及び装備

- ・進行方向に対して横向き及び後ろ向きの座席。

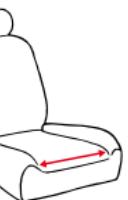
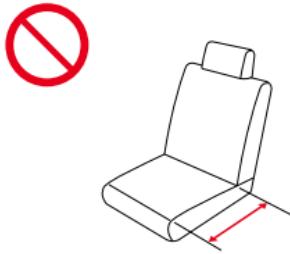


〈サイドエアバッグが装備された座席に取り付ける場合の注意〉

- ・サイドエアバッグやカーテンエアバッグのみの座席には使用できます。
- ・車の取扱説明書にチャイルドシートの使用に関する記載がある場合は指示に従ってください。

〈取り付けできない座席〉・座席の形状

- ・極端に奥行きが短い座席。(補助席や幼児専用座席)



- ・座面のフラット面が極端に狭く正しく取り付けができない座席。
(極端なバケットシート、スポーツ車、レース車、補助座席、幼児専用座席、市販座席に取り替えられた車両など)

シートベルトの条件

〈取り付けできない座席〉

- ・シートベルトの取り付け幅が極端に小さく、本製品でバックルを踏みつける座席。



- ・バックル側のベルトが固い樹脂製などでかつ、極端にバックルが長い座席。(一部のRV車)



- ・バックル及び腰シートベルトが極端に高い位置から出て、しっかり取り付けができない座席。



- ・2点式シートベルトの座席。



- ・シートベルトの取り付け部が上下共巻き取り式の座席。



- ・パッシブシートベルトの座席。
(座席に座ってドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される座席)



- ・市販のスポーツタイプのシートベルトが装着されている座席。

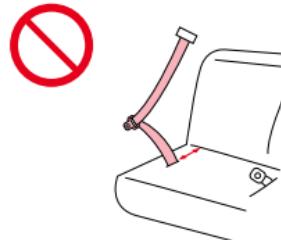


〈シートベルトの条件〉

- ・本製品は、UN ECE-R16または他の同等の基準に基づいて認可された自動車3点式/リトラクター付きシートベルトを装備した車に限り使用できます。

シートベルトの種類	特 徴	取り付け上の注意点
3点式シートベルト	ELR付シートベルト (緊急ロック式巻取装置付)	通常はシートベルトが肩側の取り付け部から自由に入れられ、急ブレーキや衝突などの時だけロックされる。
	ALR/ELR付シートベルト (チャイルドロック機構付)	シートベルトを全て引き出すと、入る方向にしか動かなくなる機構付です。全て巻き取るとロックが解除されます。
	その他	上記に当てはまらないシートベルト。

- ・バックル及び腰シートベルトが極端に前方から出て、リクライニング機構もなく、しっかり取り付けできない座席。



- ・シートベルトの長さが極端に短く、本体が固定できない座席。



・シートベルトの条件についてご不明の場合は、弊社お客様サポートセンターにお問い合わせください。

アッピリカ・チルドレンズプロダクツ合同会社

〈電話連絡先〉

お客様サポートセンター TEL 0120-415-814

携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担)TEL 0570-004-155

受付時間:AM10:00~PM5:00(土、日、祝日、弊社所定休日を除く)

ご使用上の注意



誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

・体重2.5kg未満及び13kgを超えるお子さまには使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。



・フロントエアバッグを装備した座席に本製品を取り付けない。
エアバッグの作動により、お子さまに強い力が加わり危険です。



・シートベルトに損傷がある座席には取り付けない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。



・チャイルドシートが確実に固定できない座席、チャイルドシートの固定が不完全でシートベルトに"ゆるみ"がある場合は使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。



・補助座席、幼児専用座席には使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。



誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。



・お子さまが立ったり、中腰、正座をした状態では使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。



・チャイルドシートのバックルを解除した状態で使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。



・チャイルドシートを本書及び、本体表示ラベルの説明以外の方法で取り付けない。
製品の機能が充分発揮されないだけでなく危険です。

ご使用上の注意

⚠ 警告

誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- ・お子さまを一人で車内に残さない。
- ・肩ハーネスは、ねじれたり、緩んだ状態で使用しない。
- ・同時に二人以上で使用しない。
- ・緊急時の脱出の妨げになる座席にはチャイルドシートを取り付けない。(例:片側スライドドアのドア側座席など)
- ・チャイルドシートの底面の一部分にクッション、座布団などを敷かない。
- ・肩ハーネスや股ハーネスに損傷、亀裂、焦げなどがある場合は使用しない。
- ・肩ハーネスは、お子さまの肩以外の位置で使用しない。
- ・車の走行中にベルト調節などの操作を行わない。
- ・チャイルドシートを使用中、お子さまにバックルの解除ボタンを触らせない。
- ・お子さまの耳の上端部が本体の上端部より上に出る場合は使用しない。
- ・バックルに水やジュース、泥水、ゴミなどが入った場合は使用しない。**衝突などの際に充分性能を発揮できません。**

- ・可動部に水やジュース、泥水、ゴミなどが入り操作ができない場合は使用しない。**衝突などの際に充分性能を発揮できません。**
- ・事故や落下などによる強い衝撃が加わった後は使用しない。
- ・本製品を分解、改造、及び指定部品以外の交換はしない。
- ・シートカバーやクッション材を外した状態や、他のものと交換したり、破れた状態で使用しない。
- ・本製品のいかなる部品もお子さまの遊び道具として使用させない。
- ・保護者、介添者などが椅子など腰掛けとして使用しない。
- ・パッド類を含む本製品の部品が破損した状態で使用しない。
- ・シートベルト、または、専用ベースで固定していないチャイルドシートを車内に置かない。また、衝突の際に傷害の原因になるおそれのある荷物などは車内に置かない。
- ・取り外したパッド類、日除けはトランクルームやカーゴルームに保管し、車内に保管しない。
- ・梱包袋はお子さまがかぶらないよう放置しない。

⚠ 注意

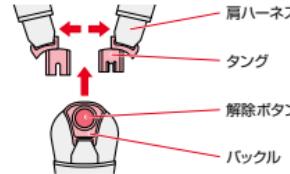
誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

- ・チャイルドシートを直射日光にさらさない。
本体や金属部分などが熱くなり、やけどのおそれがあります。
- ・可動式シートまたは、車のドアにチャイルドシートの剛性部分やプラスチック部分を挟まない。
- ・チャイルドシートがシフトレバーやパーキングブレーキなどの操作に支障をきたす座席には取り付けない。
- ・車の座席が革仕様の場合には、直接取り付けない。(別売の保護マットを使用する。)
- ・火などの近くに放置したり、長時間屋外に放置しない。
- ・車内でシートベルト、または、専用ベースで固定せずに通常の椅子として使用しない。
- ・お子さまが乗っていない場合でも、チャイルドシートのタングはバックルから外しておかない。
- ・お子さまにチャイルドシートの取り付けや、操作をさせない。
- ・チャイルドシートに重量物を載せない。
- ・砂やほこりの多い場所で使用するとベースなど可動部分に詰まり故障の原因になります。
- ・本体やパッド類、付属部品の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しない。
- ・本体に貼り付けられたシールは、はがさない。
- ・屋外に放置し、雨などにさらさない。

緊急時のお子さまの降ろしかた

緊急の時はあわてずに…

- ①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
- ②肩ハーネスをお子さまから外す。
- ③お子さまをチャイルドシートから降ろす。
- ④安全な場所へ避難する。



バックルからタングが抜けない時は…

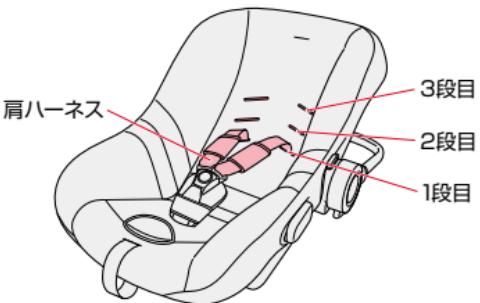
- チャイルドシートの肩ハーネスをシートベルトカッター(市販品)などで切り、お子さまを降ろす。



肩ハーネス位置の目安

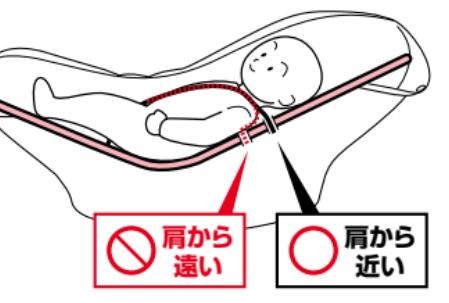
・製品を箱から取り出した際には、1番下にセットされています。お子さまの体格に合わせて、正しい肩ハーネスの位置に調節してください。

・3段階に調節できます。



体重	参考身長	肩ハーネスの位置(目安)
2.5kgから 13kgまで	70cm位	3段目
	60cm位	2段目
	50cm位	1段目

・肩に近い位置の肩ハーネス位置を使用する。



肩ハーネス通し穴は、お子さまの肩の少し上の高さになるようにしてください。



・肩ハーネス位置は、お子さまの肩から遠い位置で使用しない。
衝突の際に充分性能を発揮できません。

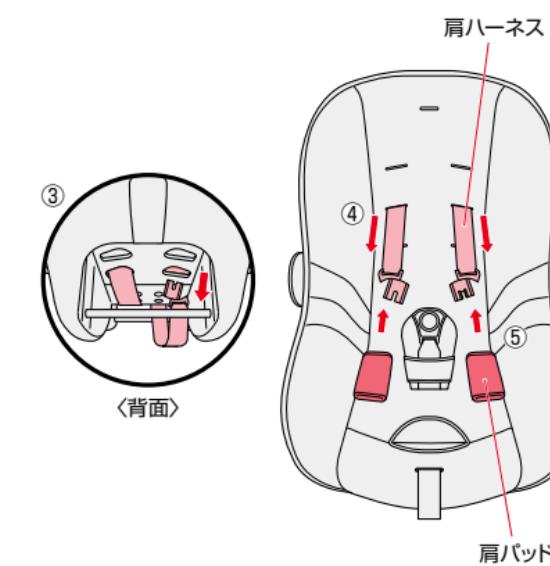
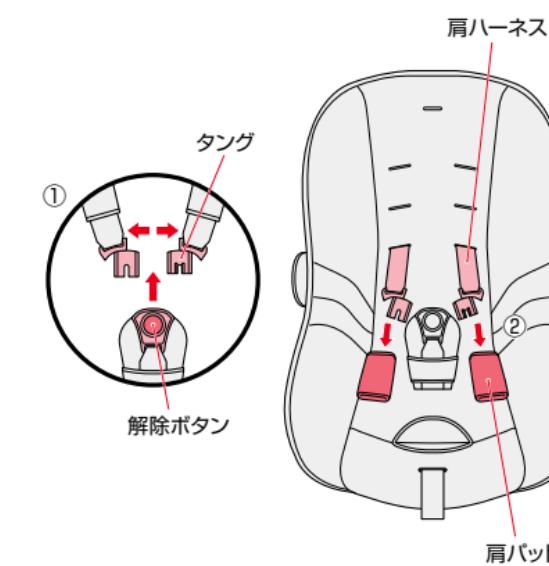
肩ハーネス位置の調節のしかた

1

- ①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
- ②肩パッドを肩ハーネスから抜き取る。

2

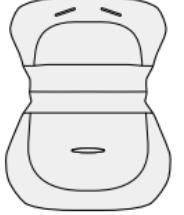
- ③本体背面から肩ハーネスを抜き取る。
- ④肩ハーネスを、お子さまに合わせた肩ハーネス通し穴に通す。
- ⑤肩パッドを肩ハーネスに通す。



取り付ける前に

パッドの使いかた

・お子さまの発育状況により下記の表を参考に使用してください。

	頭マモールパッド	肩パッド	インナーシート
○:必ず取り付けてください。			
肩ハーネス位置 1段目 (P17参照)	○	○	○
肩ハーネス位置 2段目・3段目 (P17参照)	○	○	○

警告

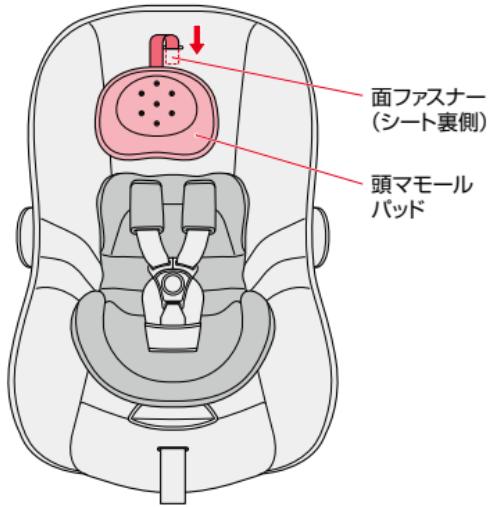
- ・本製品のいかなる部品もお子さまの遊び道具として使用させない。
- ・取り外したパッド類、日除けはトランクルームやカーゴルームに保管し、座席などの乗車空間に放置しない。

注意

- ・パッド類を強く折り曲げたり、刃物などで切ったりしないでください。
- ・パッド類を本書に記載されている以外の目的で使用しないでください。

1

〈頭マモールパッドの取り付け・取り外し〉
パッド取り付け穴に面ファスナー付きベルトを矢印方向に通し、シート裏側の面ファスナーに取り付ける。
取り外しは逆の手順で行ってください。



2

〈肩パッドの取り付け・取り外し〉
①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
②肩パッドを肩ハーネスに差し込む。
取り外しは逆の手順で行ってください。

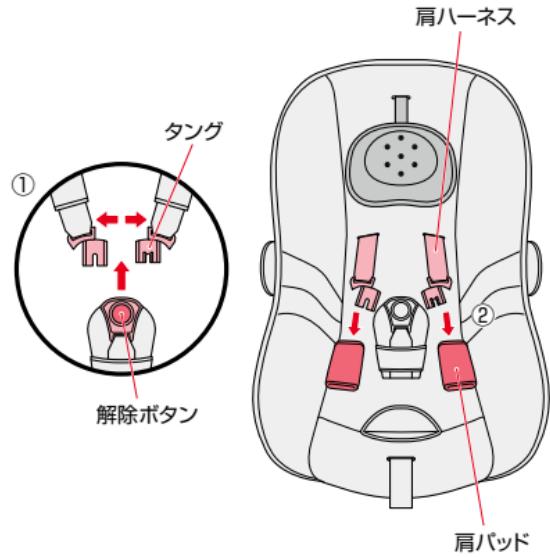


取り付ける前に

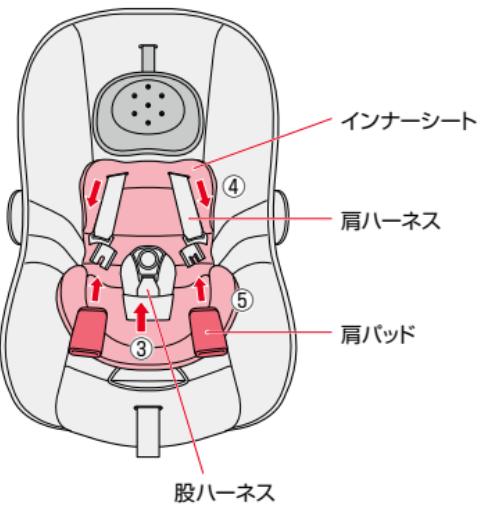
パッドの使いかた

3 <インナーシートの取り付け・取り外し>

- ①パックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
- ②肩パッドを肩ハーネスから抜き取る。



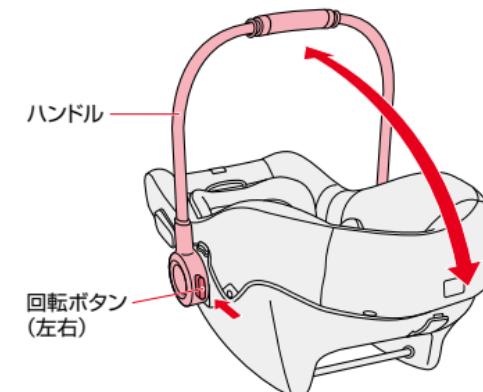
- ③股ハーネスをインナーシートの通し穴に通す。
 - ④肩ハーネスをインナーシートの通し穴に通す。
 - ⑤肩パッドを肩ハーネスに通す。
- 取り外しは逆の手順で行ってください。



ハンドルの使いかた

1

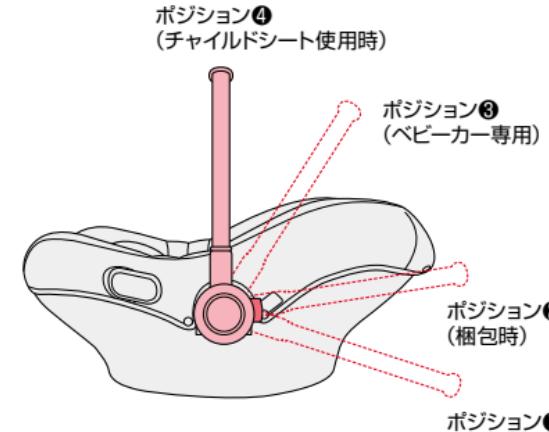
- ①ハンドルの回転ボタン(左右)を同時に押したまま、
- ②ハンドルを前後に回転させる。



ハンドルが正しい位置になると、「カチッ」と音がして、回転ボタンが元の位置に戻ります。

2

- ハンドルの位置は4段階です。
使用方法に合わせて、ハンドル位置を調節してください。
チャイルドシート使用時は必ずポジション④にしてください。



- ・ハンドル操作時は、手、指などを挟まないように注意する。思わぬけがを負う可能性があります。
- ・操作時には、お子さまを近付けない。

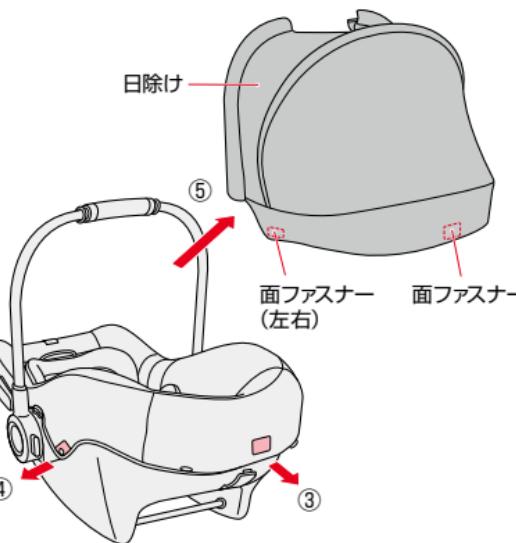
日除けの取り外しかた

- 1** ①ハンドルをポジション④にする。
②ハンドル内側のファスナーを開く。(左右)



- ・チャイルドシート使用時は必ず日除けを取り付けてください。
- ・取り付けは取り外しの逆の手順で行ってください。

- 2** ③日除け背面の面ファスナーを外す。
④日除け左右の面ファスナーを外す。
⑤日除けを取り外す。



取り付け準備

●お子さまの安全性を高めるために、運転席より後ろの列の座席に取り付けることをおすすめいたします。

●本書では、左後部座席に取り付ける場合を例として説明しています。

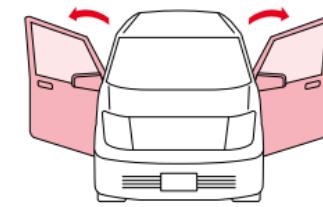
●車の座席形状やシートベルトの種類により、取り付け出来ない場合があります。
詳しくはP9～P12を参照してください。



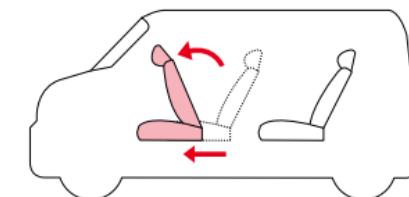
危険

- ・フロントエアバッグを装備した座席に本製品を取り付けない。
- ・チャイルドシートが確実に固定できない座席では使用しない。
- ・シートベルトに損傷がある座席には取り付けない。
- ・補助座席、幼児専用座席には使用しない。
- ・衝突などの際に充分性能を発揮できません。

- 1** **〈取り付け作業のスペース確保〉**
①取り付け作業は、ドアの全開閉が可能な、広く平らな場所で行ってください。



- ②作業前に前座席を倒したり、スライドさせることで車内での作業スペースを確保できます。

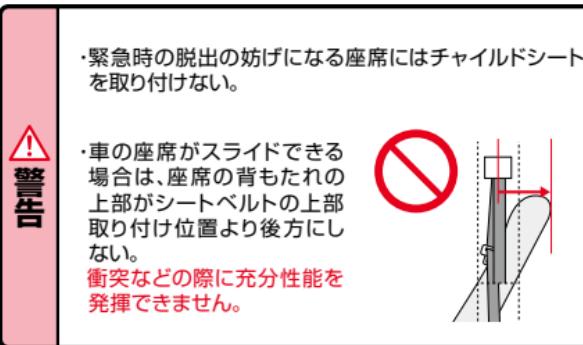
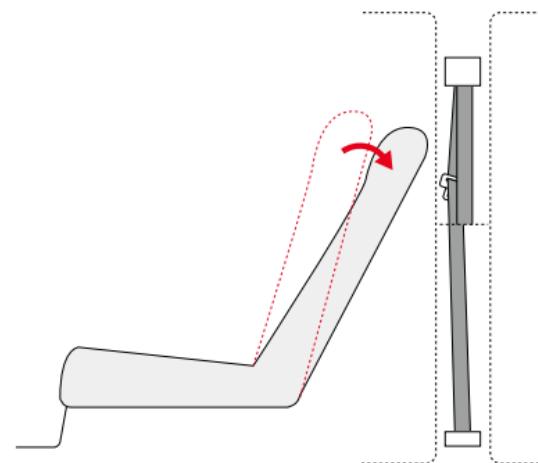


取り付け準備

2

〈取り付ける座席の準備〉

背もたれがリクライニングする場合は少し後方へ倒す。

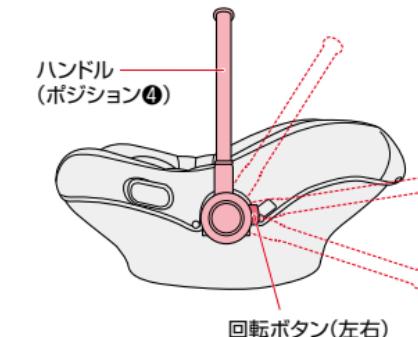


取り付けかた

1

〈ハンドルの角度を調節する〉

①ハンドルをポジション④にする。



・ハンドル操作時は、手、指などを挟まないように注意する。思わぬけがを負う可能性があります。
・操作時には、お子さまを近付けない。

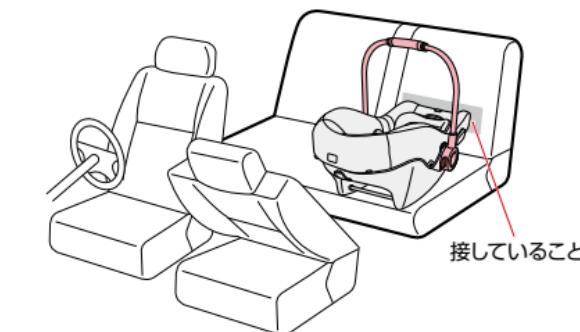


・チャイルドシートを周囲のものにぶつけないように注意してください。

2

〈チャイルドシートをのせる〉

チャイルドシートを車の後部座席に後向きにのせる。
(車の背もたれとチャイルドシートの先端が接していること。)



お子さまの安全性を高めるために、運転席より後ろの列の座席に取り付けることをおすすめいたします。



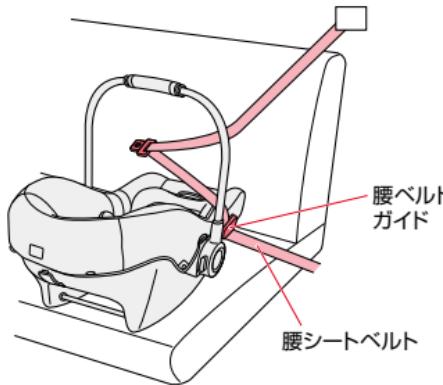
・車の座席が革仕様の場合には直接のせない。
(別売のシート保護マットをご使用ください。)
座席の革をいためるおそれがあります。



取り付けかた

3 〈車のシートベルトを取り付ける〉

- ①シートベルトを引き出し、腰シートベルトを左右の腰ベルトガイドに通す。



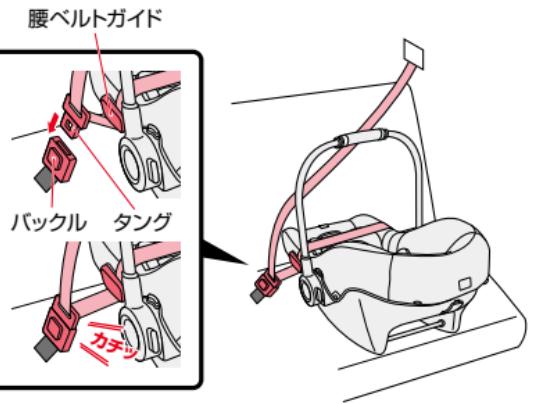
・ALR/ELR(チャイルドロック機構付)のシートベルトの場合は、ロックがかかるとシートベルトを引き出せなくなります。この場合、シートベルトを全てもどすと、チャイルドシート固定機構が解除されます。(P11参照)



・シートベルトがねじれた状態で使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

4

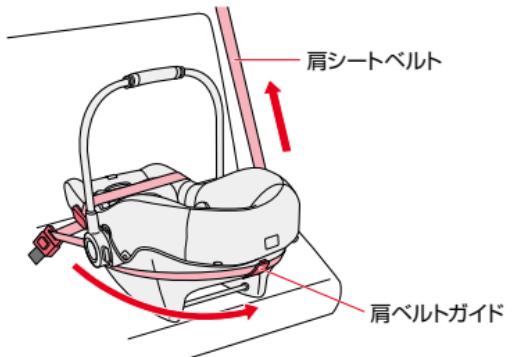
- ②シートベルトのタングをバックルに差し込む。



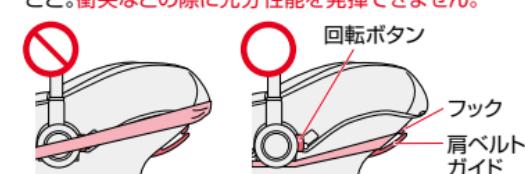
・バックルの長さが腰ベルトガイドより長い座席には本製品を使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。
ご不明の場合は、弊社お客様サポートセンターにお問い合わせください。(P47参照)

5

- ③肩シートベルトを背面の肩ベルトガイドに通す。



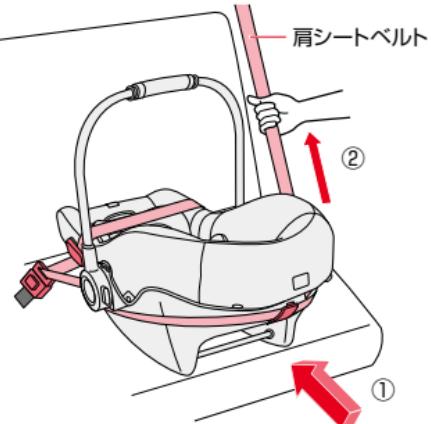
・肩シートベルトが肩ベルトガイドのフックより下側を通り、ハンドルの回転ボタンの上を通っていないこと。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。



6

- ### 〈肩シートベルトをしめつける〉

- ①チャイルドシートを座席の背もたれに押しつける。
②チャイルドシートを押したまま肩シートベルトを強く引く。



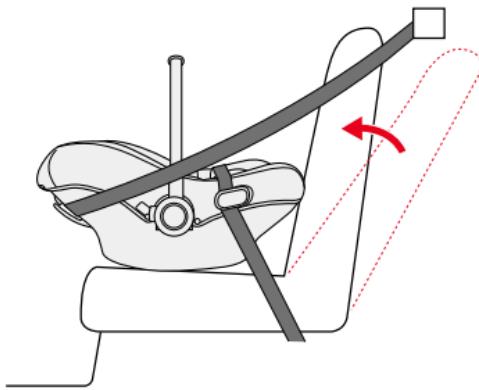
・肩シートベルトがたるんだ状態で使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

取り付けかた

7

〈座席の背もたれを起こす〉

座席の背もたれをチャイルドシートに強く当たるまで起こす。(リクライニングが可能な車の場合)



・車の座席がリクライニングできない場合は、チャイルドシートと座席の背もたれが接していること。

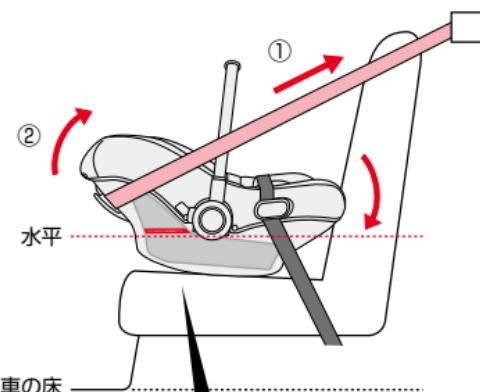


・チャイルドシートと座席の背もたれに隙間が生じる場合は座席のリクライニングを使用して隙間を無くすこと。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

8

〈肩シートベルトを巻き取り、角度を確認する〉

- ①余分な肩シートベルトを巻き取る。
- ②表示シールの赤いラインが車の床と水平になるように、本体の角度を調節する。



取り付け後の確認

・取り付けが終わったら、本製品がしっかりと固定されていることを必ず確認する。しっかりと固定されていないと、衝突などの際に、充分性能を発揮できません。

動画 取扱説明



QRコード

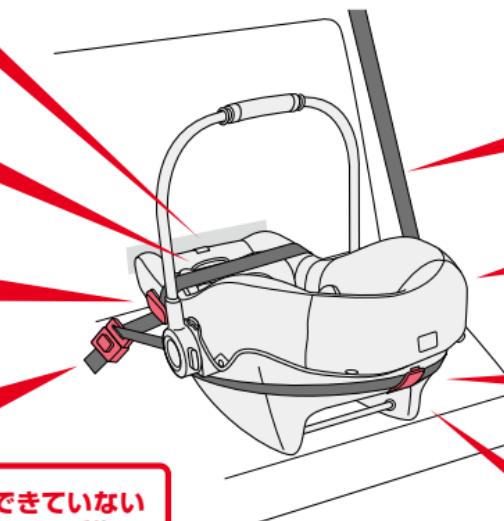
チャイルドシートの先端が車の背もたれに接している。

バックルに水やジュース、泥水、ごみが入っていないことを確認する。

車の腰シートベルトが左右の腰ベルトガイドを通っている。

車のシートベルトのタングがバックルに差し込まれている。

・全て確認し、しっかりと固定できていない場合は、もう一度P26～P29の手順で取り付け直してください。



車のシートベルトにゆるみ、たるみがない。(シワは問題ありません。)

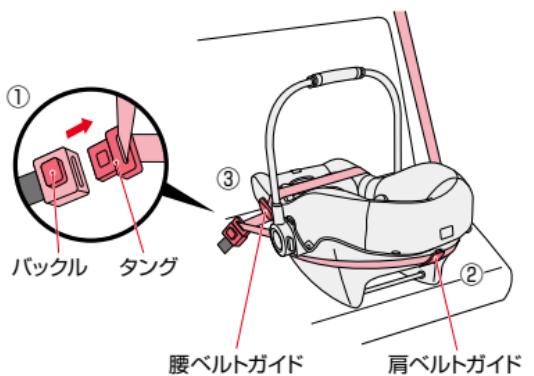
表示シールの赤いラインが車の床と水平になっている。

車の肩シートベルトが肩ベルトガイドを通っている。

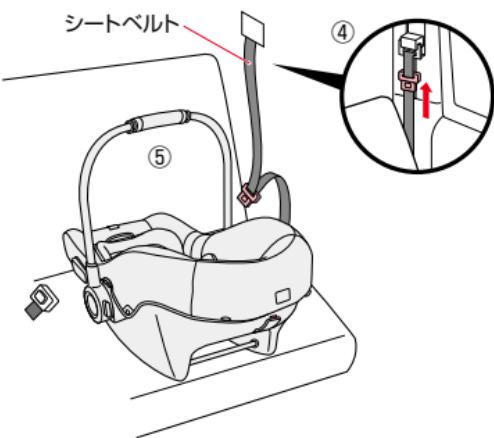
本製品下部を両手で持ち、前後左右に動かしてベース部分が大きずれない。

車からの取り外しかた

- 1** ①車のシートベルトのバックルを解除し、タングを外す。
②肩シートベルトを肩ベルトガイドから外す。
③腰シートベルトを左右の腰ベルトガイドから外す。

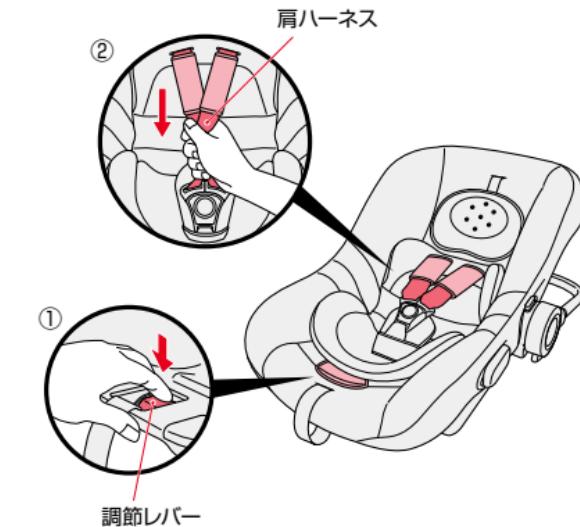


- 2** ④車のシートベルトを巻き取る。
⑤チャイルドシートを車の座席から降ろす。

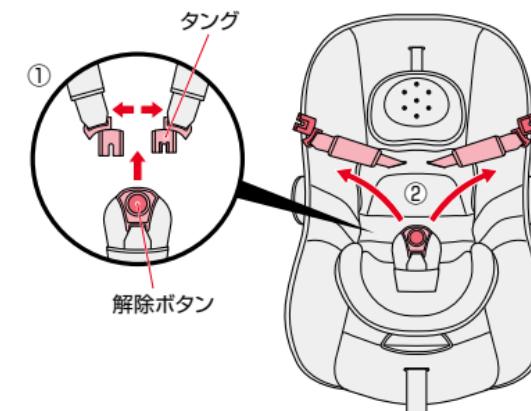


お子さまの乗せかた

- 1** 〈肩ハーネスをゆるめる〉
①調節レバーを押す。
②調節レバーを押したまま左右の肩ハーネスを手前に引き、ゆるめる。



- 2** 〈タングを外す〉
①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
②左右のタングを広げる。



お子さまの乗せかた

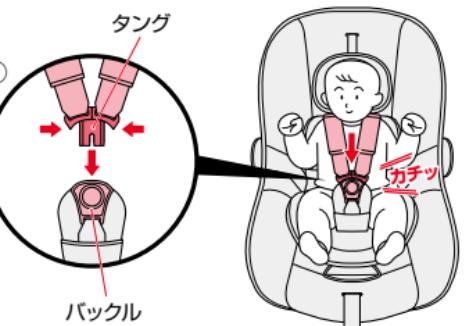
3 〈お子さまを乗せる〉

- ①お子さまの股間と股ハーネスが接するように中央に寝かせ、お子さまのお尻が股ハーネスに乗っていないことを確認する。
- ②お子さまの肩に肩ハーネスを掛ける。



4 〈タングを差し込む〉

- 左右のタングを組み合わせ、「カチッ」とバックルに固定されるまで差し込む。



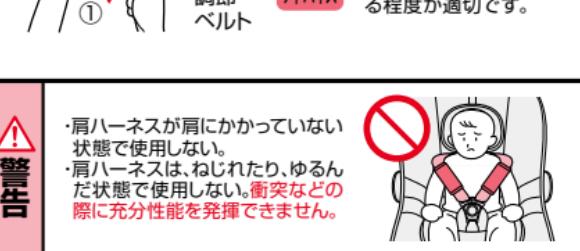
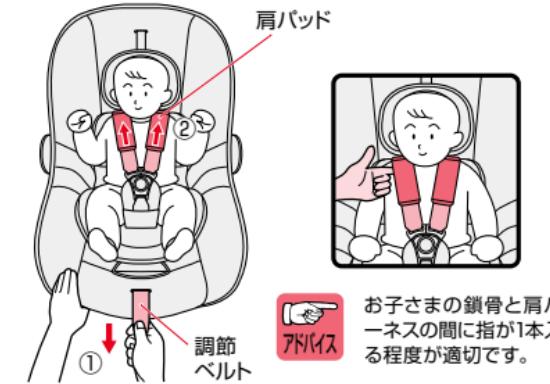
アドバイス
タングがバックルに届きにくい場合は、車内の温度を調節し、厚手の上着は脱がせてください。

危険
タングをバックルに差し込む時、「カチッ」と音がせず、固定されない場合は使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

警告
タングをバックルに差し込む時は、指や手を挟まないよう注意する。けがをするおそれがあります。
バックルに水やジュース、泥水、ゴミが入った場合は使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

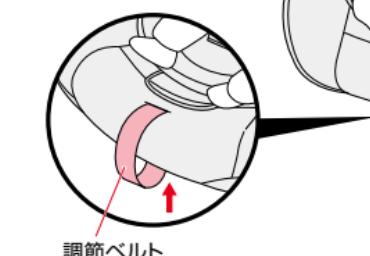
5 〈肩ハーネスを短く調節する〉

- ①調節ベルトを引き、肩ハーネスを締める。
- ②左右の肩パッドを、お子さまの首に当たる位置に調節する。



6 〈調節ベルトをとめる〉

- 調節ベルトの先端の面ファスナーをシート裏側の面ファスナーにとめる。



お子さまを乗せた後の確認

〈お子さまを乗せた後に必ず確認する。〉

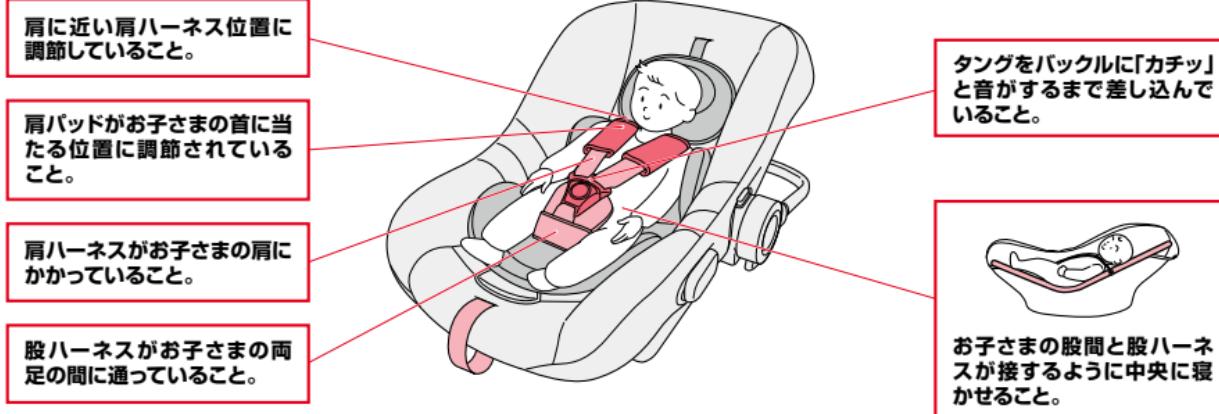


・肩ハーネスは、ねじれたり、緩んだ状態で使用しない。衝突の際に充分性能を発揮できません。
・正しく取り付けられたパッド類以外の物をチャイルドシート内におかない。
衝突の際に充分性能を発揮できません。

動画 取扱説明



QRコード



・正しくできていない場合は、もう一度P32～P34の手順をやり直してください。

お子さまの降ろしかた

1

〈肩ハーネスをゆるめる〉

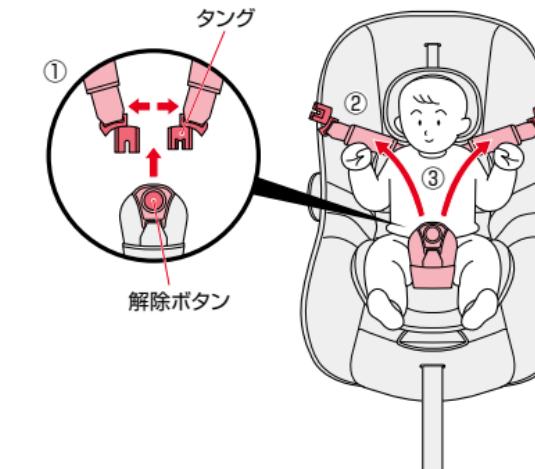
- ①調節ベルトの面ファスナーを外す。
- ②調節レバーを押したまま、
- ③左右の肩ハーネスを手前に引き、ゆるめる。



2

〈お子さまを降ろす〉

- ①バックルの解除ボタンを押し、タンクを外す。
- ②左右のタンクを広げる。
- ③お子さまを降ろす。



乗せかた

ベビーキャリーとして使用

- ・本製品は、お子さまを乗せたまま持ち運べるベビーキャリーとして使用することもできます。
- ・肩ハーネス位置の目安、肩ハーネス位置の調節のしかたはP17～P18を参照してください。
- ・パッドの使いかたはP19～P21を参照してください。
- ・ハンドルの使いかたはP22を参照してください。
- ・お子さまの乗せかたはP32～P35を参照してください。



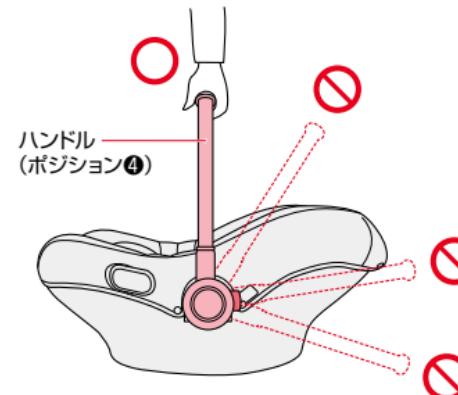
誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- ・お子さまを乗せる時は、必ず肩ハーネスを装着し、タングとバックルを固定する。
- ・ハンドルを肩に掛けて持ち運ばない。お子さまが落下したり、使用者が転倒してけがをするおそれがあります。
- ・階段、段差、坂道など段差のある場所でぶつけないように充分注意してください。お子さまが落下したり、使用者が転倒してけがをするおそれがあります。
- ・本製品をテーブルやいすの上など、落下する危険性がある場所に置かない。落下するおそれがあります。
- ・ハンドルポジション④で必ず持ち運ぶ。ハンドル位置が変わり、お子さまが落下するおそれがあります。
- ・ハーネスや調節ベルトを持って持ち運びをしない。ハーネスなどが破損し、お子さまが落下するおそれがあります。

持ちかた

- ・ハンドルをポジション④の位置にすると、お子さまを乗せたまま移動することができます。

〈ハンドルを握って持つ場合〉



〈お子さまを乗せて持つ場合〉



ベビーキャリー



- ・ハンドルが「カチッ」とロックされていることを確認する。



- ・ハンドルと本体を必ず両手で支える。

ロッキングチェアとして使用

- ・本製品は、室内でロッキングチェアとして使用することもできます。
- ・肩ハーネス位置の目安、肩ハーネス位置の調節のしかたはP17～P18を参照してください。
- ・パッドの使いかたはP19～P21を参照してください。
- ・ハンドルの使いかたはP22を参照してください。
- ・お子さまの乗せかたはP32～P35を参照してください。

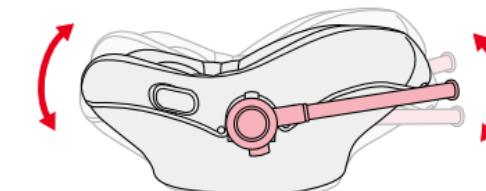


誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- ・ロッキングチェアとして使用できる目安は、首がすわってから10カ月頃までのお子さまです。首がすわるまでロッキングは使用しない。
- ・チェアとして使用できる目安は、0カ月から12カ月頃までのお子さまです。月齢以外のお子さまにはチェアとして使用しない。
- ・お子さまを寝かせた状態で本製品を使用する際に、お子さまの足が床に着く場合は使用しない。
- ・保護者の目の届かない場所で使用しない。
- ・お子さまを乗せる時は、必ず肩ハーネスを装着し、タングとバックルを固定する。
- ・車内ではロッキングチェアとして使用しない。
- ・テープルやいすの上など、落下する危険性がある場所や階段、段差、傾斜のある所、またタイルなどすべりやすい場所では使用しない。**転倒してけがをするおそれがあります。**
- ・ストーブの近くや落物の心配のある場所では使用しない。
- ・2人以上のお子さまを乗せない。
- ・お子さまの乗せ降ろしは必ず保護者が行う。
- ・お子さまが身体を乗り出さないよう注意する。

〈ロッキングとして使用する場合〉

- ・ハンドルをポジション②にして、手で軽く押してください。
本製品がゆっくりロッキングします。



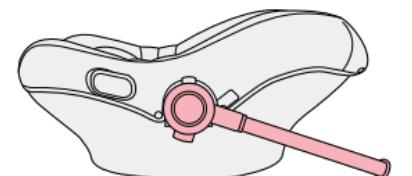
〈ポジション②〉



- ・ハンドルが固定されていること。
- ・お子さまの様子を見ながら押すこと。
- ・長時間の使用はしない。

〈チェアとして使用する場合〉

- ・ハンドルをポジション①にするとロッキングしません。
チェアとして使用できます。



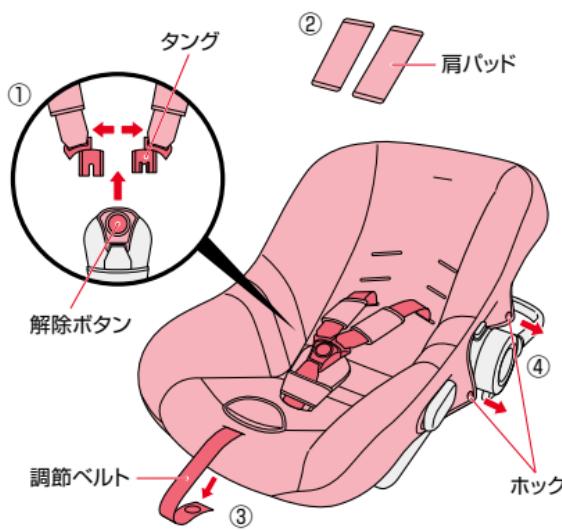
〈ポジション①〉



シートカバーの取り外しかた

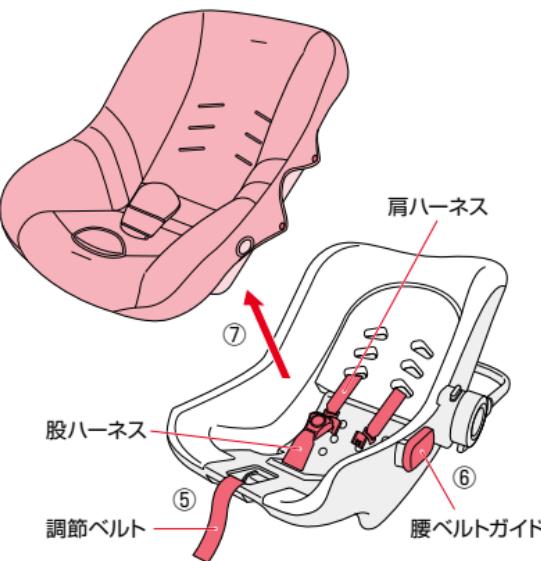
1

- ①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
- ②肩パッドを肩ハーネスから抜き取る。
- ③調節ベルトの面ファスナーを外す。
- ④シート部横側のホックを外す。(左右4カ所)



2

- ⑤シートカバーを足元側からめくり、調節ベルトを抜き取る。
- ⑥腰ベルトガイドからシートカバーを外す。(左右)
- ⑦肩ハーネス、股ハーネスを抜き取り、シートカバーを取り外す。

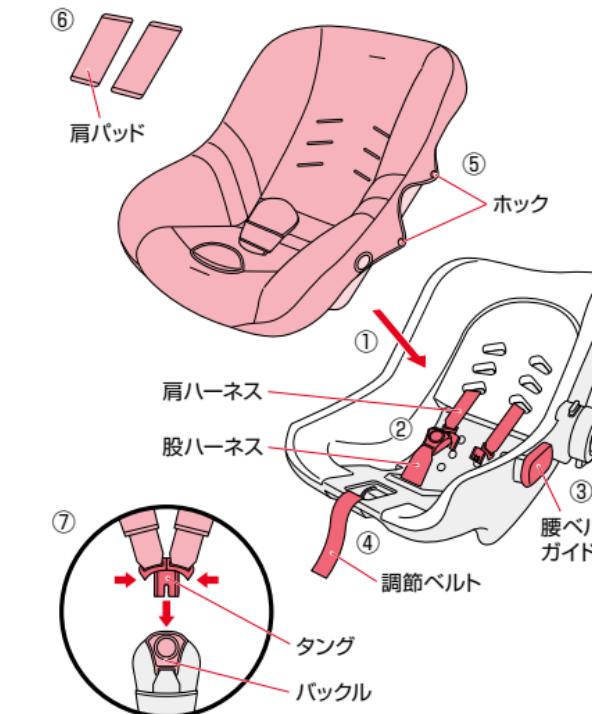


シートカバーの取り付けかた

1

〈シートカバーを取り付ける〉

- ①シートカバーを本体にかぶせる。
- ②肩ハーネス、股ハーネスを通し穴に通す。
- ③腰ベルトガイドを通し穴に通す。(左右)
- ④調節ベルトを通し穴に通す。
- ⑤シート部横側のホックをとめる。(左右4カ所)



2

〈肩パッドを取り付ける〉

- ⑥肩パッドを肩ハーネスに取り付ける。

〈タングを差し込む〉

- ⑦左右のタングを組み合わせ、「カチッ」とバックルに固定されるまで差し込む。

・取り付け後、シートカバーに浮きが無いことを確認してください。



・誤った取り付け方をしない。指挟みなどの思わぬ事故の原因となるおそれがあります。

・シートカバーを取り外した状態で使用しない。

お手入れ／保管／廃棄のしかた

〈シートカバー、肩パッド、頭マモールパッド、日除け、インナーシートの洗濯〉



※ねじり又は絞り禁止



注意
・他のものと一緒に洗濯しないでください。
色移り(移染)のおそれがあります。

〈樹脂部分、ハーネスのお手入れ〉

〈樹脂部分にほこりなどが吸着した場合〉

- ・タオルなどで乾拭きしてください。
- ・回転レバー付近にゴミがつまらないようにこまめに掃除機などでゴミを吸い取ってください。

〈水溶性の汚れ(果汁、ヨダレ、オシッコなど)の場合〉

- ・40°C前後のお湯にタオルを浸し、軽く絞って拭き取ってください。
- ・ハーネスは日陰で乾燥させてください。

〈非水溶性の汚れ(牛乳、油脂、マヨネーズなど)の場合〉

- ・40°C前後のお湯に中性洗剤を溶かし、スポンジを浸し、軽く絞って汚れた部分を軽くこります。その後、水又は温水にタオルを浸し、軽く絞って充分に中性洗剤を拭き取ってください。
- ・ハーネスは日陰で乾燥させてください。



注意
・本装置やパッド類、付属部品の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しないでください。変色、変形、劣化のおそれがあります。

〈保管するときは〉

- ・本装置を湿気のないポリ袋などに入れ、直接日光に当たらない、冷暗所に保管してください。



注意
・屋外に放置し、雨などにさらさないでください。
劣化などにより、充分な性能を発揮できないおそれがあります。

〈廃棄するときは〉

- ・事故や落下などにより強い衝撃を受けた製品には、本装置に「事故品」と油性ペンで目立つところに記入し再利用を防止してください。
- ・地球環境のため、不要になった場合は、お住まいの各自治体の指示に従い処分、廃棄してください。

困ったときには〈解決しない場合は弊社お客様サポートセンターに連絡してください。〉

〈ご使用前に困ったとき〉

お気づきの点	対処方法
梱包箱の内容物に不足や間違いがある。	弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。 (P47「アフターサービスについての連絡先」参照)
チャイルドシートをご使用になる車に、取り付け可能か判らない。	インターネットのアプリカホームページ[http://www.aprica.jp/]や店頭のチャイルドシート取り付け可能車種一覧表を確認してください。
車のどの座席に取り付ければ良いのか判らない。	エアバックの有る助手席に取り付けることはできません。また、車両後部座席(3列シートの車両の場合は2列目以降の座席)への取り付けをお奨めします。(P9「座席の条件」参照)

〈車への取り付けで困ったとき〉

お気づきの点	対処方法
シートベルトの「ねじれ」が取れない。	シートベルトのバックルにタングを「ねじって」挿入していないか確認してください。 (P27「取り付けかた」参照)
チャイルドシートを取り外し、車の取扱説明書に従って「ねじれ」を取り除いてください。	チャイルドシートを取り外し、車の取扱説明書に従って「ねじれ」を取り除いてください。 (P31「車からの取り外しかた」参照)
チャイルドシートを本書の通りに車の座席に取り付けてもグラグラする。	車への取り付け方法を再度ご確認の上、もう一度初めから取り付け直してください。 (P24「取り付け準備」参照)
何度取り付けても固定できない場合は、チャイルドシートと車の座席がミスマッチの可能性があります。	何度取り付けても固定できない場合は、チャイルドシートと車の座席がミスマッチの可能性があります。 弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。 (P47「アフターサービスについての連絡先」参照)

困ったときには

〈解決しない場合は弊社お客様サポートセンターに連絡してください。〉

〈お子さまの乗せかたで困ったとき〉

お気づきの点	対処方法
肩ハーネスを最も引き出した状態でお子さまに肩ハーネスを通してバックルにタングが差し込めない。	車内の温度を調節し、厚手の上着は脱がせてください。
肩ハーネスとお子さまの適切なフィット感が判らない。	お子さまの鎖骨と肩ハーネスの間に指が1本入る程度が適切です。 (P34「お子さまの乗せかた」参照)
チャイルドシートのバックル操作ができない。	タングとバックルの隙間に股ハーネスカバーなどを挟み込んでいないか確認してください。 (P32「お子さまの乗せかた」参照) 問題が解決しない場合は、弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。 (P47「アフターサービスについての連絡先」参照)
バックルにジュースやゴミなどが入ってタングが差し込めない。	弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)までお問い合わせください。 (P47「アフターサービスについての連絡先」参照)

保証について

〈保証期間とアフターサービス〉

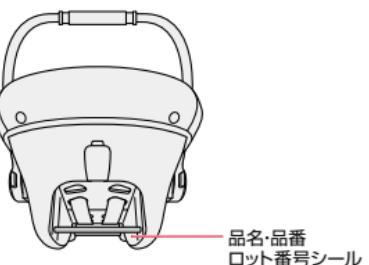
・アフターサービスについて

ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号をご確認のうえ弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

・保証期間中(お買い上げ日より1年間です。)に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します
ただし、お預かりした製品を確認した結果、弊社にて修理ができないと判断した場合は製品交換とさせていただくことがあります。

・ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。**(修理箇所の保証期間は1ヶ月です。)**
また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。
(部品の保有期間は、製造中止後3年間です。)

・お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、
品名・品番・ロット番号を必ずお伝えください。



アフターサービスについての連絡先

アップリカ・チルドレンズプロダクツ合同会社

〈電話連絡先〉

お客様サポートセンター TEL **0120-415-814**

携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) TEL **0570-004-155**

受付時間:AM10:00~PM5:00(土、日、祝日、弊社所定休日を除く)

MEMO

お買い上げ時レシート 貼り付け位置

- ・お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、お買い上げ時のレシート(領収書)を貼り付けてください。

MEMO